

令和7年度 福井県立道守高等学校学校関係者評価書(定時制)

<p>(問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校評価書の成果と課題が適切かどうか。 ・成果と課題を踏まえた改善策・向上策が適切かどうか。 ・その他 								
<p>(ご意見をお聴きした方々)</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">福井県立道守高等学校教育振興会</td> <td>会長 鈴木 宏治 氏</td> </tr> <tr> <td>福井県立道守高等学校同窓会</td> <td>会長 平山 吉男 氏</td> </tr> <tr> <td>福井県立道守高等学校福信会</td> <td>会長 服部 悟 氏</td> </tr> <tr> <td>福井県立道守高等学校育友会</td> <td>会長 柳生 英俊 氏</td> </tr> </table>	福井県立道守高等学校教育振興会	会長 鈴木 宏治 氏	福井県立道守高等学校同窓会	会長 平山 吉男 氏	福井県立道守高等学校福信会	会長 服部 悟 氏	福井県立道守高等学校育友会	会長 柳生 英俊 氏
福井県立道守高等学校教育振興会	会長 鈴木 宏治 氏							
福井県立道守高等学校同窓会	会長 平山 吉男 氏							
福井県立道守高等学校福信会	会長 服部 悟 氏							
福井県立道守高等学校育友会	会長 柳生 英俊 氏							
<p>(ご意見欄)</p> <p>○教育課程・学習支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学力のばらつきに対し、「きめ細やかな個別指導」を実践されている点を高く評価します。今後も生徒が「分かった」という喜びを感じ、自己肯定感が高まる学習環境の継続をお願いします。 ・学習に取り組む生徒の指標が目標を越えていて、喜ばしい結果だと思えます。また、出席の様子から登校しようとする姿が伺え、先生方の指導のお蔭かと思えます。保護者の方々の理解も嬉しく思います。 								
<p>○生徒支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルバイトなど多様な生活背景をもつ生徒をありのままに「受容」し、寄り添いながら部活動や行事への参加を促す姿勢に感謝いたします。規範意識の指導においても、生徒を否定せず、背景を理解する指導に感謝いたします。 ・近頃のニュースで、特殊詐欺の被害者は低年齢化してきています。闇バイトの広告に引っ掛かり、人生を台無しにする若者が増えています。機会あるごとに生徒に注意をして頂きますよう希望します。授業中のルールを守ることの大切さを理解している生徒とともに、一部の生徒にルールを守る大切さを分かってください。 								
<p>○進路支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の「自己決定」を尊重し、早い段階から保護者や関係機関と連携して伴走して下さる姿勢を頼もしく思います。特に困難を抱える生徒に対し、教員やSC、SSW等と連携し、福祉的な視点から早期発見・早期支援を図るセーフティネットが機能している点を高く評価します。 ・自分の将来について、先生・保護者と話が充分できていない生徒が40名を超えています。自分の進路を考えることは大切ですが、今自分は何がしたいのか、適正職業は何か分からないのではないのでしょうか。職場実習などを通じて指導をお願いしたいと思います。 ・卒業生の進路支援については、生徒との話し合いなどを進めていると思えます。問題は卒業できずに退学した生徒で、彼ら、彼女らについてもどういう方向性を考えているのか話を聞き、しかるべき支援機関につなげるなど、社会から孤立しないようにしてほしいです。 								
<p>○読書活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書室が、単なる学習の場にとどまらず、生徒にとって安心できる居場所として機能している側面もあるかと思えます。生徒の興味関心に寄り添った書籍の配置など、心が豊かになりウェルビーイングの向上に繋がる読書鑑賞の更なる充実に期待します。 ・学校として生徒の授業の参考になる図書をそろえるのは難しいと思いますが、図書室のオープン時間の検討は可能でしょうか。 								
<p>○心身の健康管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健室での個別指導など、生徒の些細な体調の変化や心のSOSを受け止める体制に感謝します。生徒が自らの状態や不安を安心して出せる「安全基地」として、引き続き関係機関とも連携したきめ細やかなサポートをお願いいたします。 ・心身の健康管理は自己管理です。学校で指導をお願いします。清掃活動への取組は、社会人になっても大切な行動です。理解させてください。 								
<p>○メンタルケアの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の皆様がかウンセリングマインドをもち、専門職と連携するチーム対応を高く評価します。生徒を一人の人間として尊重し、その感情に寄り添う温かい姿勢が、生徒や保護者の高い安心感に直結していると感じます。 ・生徒、保護者の悩みに対して満足度が90%中盤は立派だと思います。今後ともいろいろな相談事に親身に対応をお願いします。 								
<p>○ICTの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用は、アンケートでも生徒の関心が高まっていることが伺えます。生徒が自らのペースで学びを深め、コミュニケーションを補完するツールとして、さらに個別最適化された活用が進むことを期待します。 ・ICTは日々進歩しています。授業として教えるのは大変だと思います。生徒の理解度は早い者、遅い者の差はあると思います。いいえと答えた9名の生徒に分かるよう指導の工夫をお願いします。 ・近年のICTの進化はすさまじく、単にタブレットを使えるかということより、AIをどこまで使いこなせるかで仕事の幅が全く変わってくる。評価シートの「ICTを授業や～」の「はい」が41%では低すぎます。また、授業でICTを使うだけでなく、学校運営をAIで効率化することを心掛けてほしいです。 								
<p>○連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーレス化等のデジタル移行を進めつつも、保護者と丁寧な情報共有に努めてくださり感謝します。多様な大人が生徒を多面的に見守る包括的な支援体制が不可欠だと考えます。 ・学校のホームページを見ている保護者が2人、2%はどちらを合わせても20人、保護者の方はご存じないのでしょうか。配布物は84%ですので、配布物で周知できないでしょうか。 								
<p>○全体(総括)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貴校が、生徒一人ひとりの多様性を認め、それぞれの背景やペースを尊重する拠点として機能していることに、保護者として心より感謝申し上げます。成果と課題を拝見し、生徒のウェルビーイングを最優先に考え、温かい対人援助の実践が随所に見られました。温かな学校づくりを、保護者としても支え、協働していきたいと考えております。 ・全体として昨年度調査より数値が上がってきて、良い結果だったと思えます。これからも「c」のどちらとえば「いいえ」と「d」の「いいえ」の数値が改善することを希望します。 								
<p>○学校関係者評価を踏まえた今後について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回いただいた各委員からのご意見やご指摘を真摯に受けとめ、次年度のスクールプランや具体的取組みの設定に生かしていきます。また、生徒の個別最適な学びを充実させるために、タブレット端末を活用したオンライン授業などの研究や授業での活用を行います。また、授業の進め方やテスト・評価のあり方についての研究を積極的に取り組みます。 ・清掃や保健に関して生徒会からの啓発活動を通して、生徒たちの意識を高め、健康的な生活を送ることができることを目指します。 ・9月の三者懇談会で生徒と保護者向けのアンケートを実施した上で12月に本アンケートを行うことを通して回答率を高め、保護者の学校評価に対する意識を高めます。 ・令和7年度は中小企業者同友会のご協力で生徒の職業観の育成に功を奏したように、生徒が将来に向けての展望をもって社会に出ていくために、外部機関の方々と連携していきます。 								